

日 時 令和6年12月12日（木）18時30分 ～19時30分
場 所 高木会館
対象地区 高木
参加人数 6名

■要望、質疑応答

内 容
○原遺跡の開発について （市民から） 原遺跡の場所は、駅も近く場所がいいのに市街化調整区域であり、遺跡の関係もあり開発できないものと思っていたが、尾上保育園がグラウンドを整備したことから、開発できるのではないかと思った。上水道と下水道が敷設されたら開発してくれる人がいるかもしれないので、敷設することができないか。 また、開発されないとしたら、土地の草刈り等の維持が大変である。中山間や多面的支払交付金など維持管理のための交付金はあるが、文化財の場所の維持管理のための交付金はないのか。 （市から） ・下水道は下水道の区域外なので整備できない。また、家のないところに水道を敷設するのは難しい。 ・尾上保育園のグラウンドについては、建築住宅課に確認して後日連絡する。 （市民から） これから市街化区域にすればいいのではないか。市街化調整区域でなくなればできるのではないか。 （市から） ・下水道の区域をはずれると合併浄化槽の設置が必要となる。 （市民から） 尾上保育園の運動場は農地であるが、建物を建てるわけではないため、農業委員会で許可を出している。 （市から） ・駅のそばで場所がいいのはわかるが、遺跡もあることから開発することは難しいかもしれない。 ・中山間の交付金については中山間地域の維持管理、多面的交付金については農地の保全に対しての交付金である。

・まだ試掘されていない遺跡の土地の管理のための交付金については確認して後日連絡する。
○道路補修等について (市民から) 愛宕神社からバイパスに抜ける坂になっている道路に、大きな穴が開いているので補修をお願いしたい。 また、高木から黒石に向かう川がある所の角で、道路が狭くなる場所にガードレールをつけるか、川を狭くするかしてほしいと町会要望し、来年度以降検討するという回答だった。去年は、車が落ちてから誘導灯をつけていたが、今年はない。冬場の対策はしてもらえるものか。 (市から) ・道路の穴補修については、現場確認のうえ春には対応する。 ・道路が狭くなるところは危険だということで、スノーポールや視線誘導灯を工夫するなど対策をしている。整備については、大きな事業費がかかることから、今すぐではないが、検討をしていく。
○トラックマーケットについて (市民から) 今年のトラックマーケットは猿賀公園で開催して、反響がよかったと聞いている。来年度も猿賀公園で実施してもらいたい。 (市から) ・今年度のトラックマーケットは好評だった。来年度以降の事業については、検討中でありお知らせできないが、今回の意見は経済部に伝えておく。 ・猿賀公園でのトラックマーケットは、プラスマルシェも一緒に行い、キッチンカーなども来て好評だった。柏農の野菜が目当ての方も多かったようだ。来年度以降については、開催場所や方法について検討している。
○防災について (市民から) 自主防災運営支援補助金について、資機材をインターネットで購入してもよいか。 (市から) ・領収書等の書類を揃えられるのであれば可能である。 (市民から)

高木会館は指定避難所に指定されているが、町会の中心部からの避難経路となる道路が狭く、両側にブロックがある。ブロックの倒壊も想定されることから、避難路を確保するために道路の拡幅を検討していただきたい。

(市から)

- ・道路の拡幅には用地の確保、建物等への移転補償が必要となるため、用地の確保を町会にお願いしたい。用地の確保ができるようであれば町会要望として挙げてほしい。
- ・用地の確保や建物等の移転補償が必要となるため、まずは地元での話し合いをお願いしたい。

○県道の街路樹について

(市民から)

尾上から平賀に向かうバイパスにある松の木が伸び放題になっている。手入れはしているのか。

(市から)

- ・県道なので、確認のうえ県に伝えておく。

○墓地の管理について

(市民から)

墓地の管理者は必ず決めなければいけないのか。管理者がいない場合、埋葬許可書はどこに持っていけばいいのか。

(市民から)

高木の原田墓地も管理者が地元にはいない。以前の市民生活部長に、管理者には地元にいるよう指導をしてくださいと依頼したことがある。埋葬許可証は、管理者ではないが町会長が預かっている。

(市から)

- ・市営墓地の管理者は市長であるが、町会等にある墓地は主に町会長がやっている場合が多い。墓地の使用者で管理者を決めていただきたい。

(市民から)

所有者が分からない、所有者がたくさんいる墓地もある。墓地管理者を置く道筋をつけるとか、墓地の所有者を集めて指導するなど市で手助けをしてほしい。これからもっとそういう墓地がでてくる可能性がある。

(市から)

- ・市営墓地でも、承継されずに所有者不明の墓地もあれば、管理者と代理人を置いているところもある。町会にある墓地なので、町会や墓地を使っている人で話し合いをしていただきたい。

○ゴミ袋について

(市民から)

浪岡のごみの施設がなくなって、ゴミ袋が変わって高くなると聞いた。現在のゴミ袋は使えるのか。

(市から)

- ・黒石地区清掃施設事務組合は令和 7 年度に廃止となり、尾上地域は弘前地区環境整備センターへ変更となる。令和 7 年度途中で黒石地区清掃施設事務組合のゴミ袋は製造しなくなるため、ゴミ袋が変わることとなり、また、尾上地域はごみの分別方法が変わる。
- ・現在、ゴミ袋の値段等は協議中であり、まだ決まっていない。令和 7 年度中は現在のごみ袋は使えるものの、平成 20 年から同じ値段のため、製造コスト等もかかっていることから値上げとなる見込みではある。

(市民から)

現在のごみ袋は縛るのが大変で使いにくいので、仕様についても検討してほしい。

(市から)

- ・仕様についても検討中である。
- ・令和 7 年度中にごみの出し方が変わるので、尾上地域では出前講座を予定している。